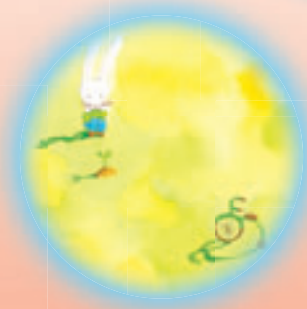


人・夢・大地

やさしさ奏でる 絵本の里けんぶち



第5期剣淵町総合計画

平成23(2011)年度～平成32(2020)年度

〔概要版〕

総合計画とは、剣淵町が最も上位に位置づけるまちづくり計画で、まちづくりに関係する取り組み(施策・事業)を、総合的に示した計画です。

平成23(2011)年度から平成32(2020)年度までの10年間を期間とした「第5期剣淵町総合計画」ができましたので、その概要をお知らせします。

まちづくりテーマ

人・夢・大地

やさしさ奏でる 絵本の里けんぶち

“絵本の里”は、人の心を大切にしまちづくりを一貫して進めてきた結果であり、剣淵町の財産です。

人づくりや支え合いの大切さが問われ、求められる今日、これからも変わることなく、“絵本の里”づくりをさらに進めていくことが必要です。

これからも、“絵本の里”づくりを住民全体でより深く理解し進めていくことによって、剣淵町に住む一人ひとりからやさしさが広がり、奏でられる“絵本の里”をめざします。

10年後にめざす、
2つの指標

総人口

平成22年の総人口は3,569人です。(国勢調査の速報値)
10年後の総人口は、人口減少の抑制に努めることとし、3,200人を目標とします。

住み良さ

平成21年度の町民アンケートで、剣淵町を「住みよい」または「どちらかといえば住みよい」と回答した人は63.8%です。
10年後のアンケートでは、70%以上を目標とします。

第5期剣淵町総合計画書の発刊に寄せて

剣淵町長 佐々木 智 雄

平成17(2005)年を境に日本の総人口は減少に転じ、我が国は世界的にも例のない速さで人口の減少と少子高齢化が進んでいます。

特に地方では「超高齢社会」と言われる人口構成で、子育てや老後、介護への不安が高まり、地域社会における支え合いがより求められています。

剣淵町に住む者同士が、立場や年齢、経験の違いなどを越えて、知恵や力を出し合い、“協働のまちづくり”により課題を解決し、支え合っていくことが必要です。

こうした時代のなかで、将来のまちづくりの指針として平成23年度から平成32年度までの「第5期剣淵町総合計画」を策定いたしました。

『人・夢・大地 やさしさ奏でる 絵本の里けんぶち』をまちづくりテーマとし、「住みよさ」と「持続・発展」を両立したまちづくりを進めます。

おわりに、この計画の策定にあたりまして貴重なご意見、ご提案をお寄せいただいた町民の皆様、そして慎重なご審議を賜りました総合計画審議会委員並びに町議会議員各位に厚くお礼申し上げますとともに、計画の推進に際しましては変わらぬご支援をお願い申し上げ、発刊のご挨拶といたします。



重点的に進める内容 (重点プロジェクト)

人と人とのつながりで、地域の元気と定住を高めるプロジェクト

- **新たな視点(テーマ)で開催する住民参加のイベントを応援します**
地域資源を活かしたイベント　ご当地グルメが楽しめる企画　など
- **これまでのあり方を見直すことも含め、住民参加の交流を促進します**
姉妹・友好都市との交流　ペルー共和国との交流　後継者対策につながる交流
若者同士の交流　定住につながる交流　など
- **今住んでいる人たちが、いつまでも安全安心に暮らせる環境づくりを進めます**
高齢者等の日常生活を支援するサービス
関係機関・団体との連携による防犯活動の推進　など
- **定住を町全体でサポートする仕組みをつくります**
定住に関わる横断的な課題に対応できる体制づくり　など

地域の良さと資源を活かした産業振興プロジェクト

- **農業を担う人、応援する人を育てます**
農業後継者・新規就農者の育成
食育・地産地消の推進　農業とふれあう機会の充実　など
- **地域資源の活用、異業種との連携を通じた産業振興を進めます**
地域資源を使った特産品開発の支援　ご当地グルメや土産品などの開発、PR
農村景観を活かした観光の振興　など

より実感できる“絵本の里”づくりプロジェクト

- **目や耳で実感できる“絵本の里”づくりを進めます**
“絵本の里”づくりのイメージ、景観について考える場や機会の充実
宣伝用DVD・観光PR用名刺の有効活用　など
- **心で実感できる“絵本の里”づくりを進めます**
“絵本の里”らしい特色ある学校づくり
子どもの頃からまちづくりに興味を持てる機会づくり　など
- **“絵本”を通じた活動の輪を広げます**
まちづくり団体への活動支援
絵本のまちづくりを通じた交流の輪の拡大　など



絵本の館

全体の内容 (基本計画)



1 地域の資源を活力に、豊かなまちをつくる

人材、生産物、技術、ネットワークなど、剣淵町の資源を地域の活力としていくことができる産業の振興をめざします。

取り組み分野

農業 林業 商工業 観光 特産品 就労環境

主な取り組みの方向・考え方

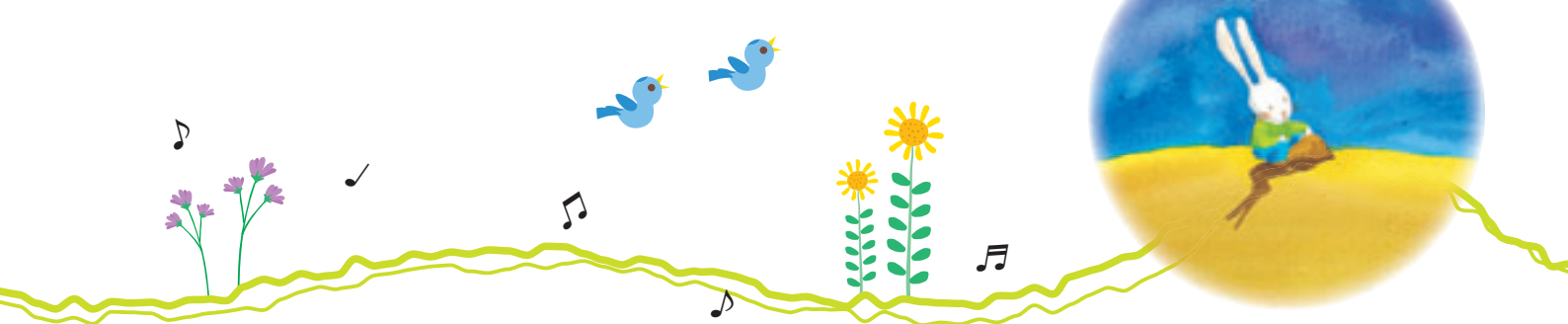
- 農産物の安定生産に向けた基盤づくりを推進します。
- 地域農業の生産体制を整え、農業経営の安定化をめざします。
- 人と環境にやさしい安全安心な農業を進めます。
- 他の分野と連携し、農業の魅力を活かしたまちづくりを進めます。
- 健全な森林(もり)づくりを推進します。
- 商店街の活性化を促し、住民の身近な買い物の場づくりに努めます。
- 観光に訪れる人たちを町内に呼び込み、さらなる観光や滞在につなげます。
- 地域の資源を活かした特産品の開発を進め、売上が伸びるよう、支援します。
- 企業誘致の推進と起業を支援し、町民の働く場の確保に努めます。



恵みの大地



人参の選別



2 優しく、健やかな人を育むまちをつくる

“絵本の里”にふさわしい、人に優しく、心身ともに健全な住民を育むまちをめざします。

取り組み分野

子育て支援	小学校、中学校	高等学校	青少年の健全育成
生涯学習	芸術文化、文化財	スポーツ活動	健康づくり 医療
地域福祉	高齢者福祉	障がい者福祉	社会保障

主な取り組みの方向・考え方

- 安心して子育てができ、地域全体で見守る子育て支援サービスの充実を進めます。
- 小中学校では、豊かな心と健やかな身体、自らの将来を切り拓こうとする意欲を育みます。
- 剣淵高等学校では、農業と福祉の専門校として、地域に根ざした教育活動を展開します。
- 地域の教育力を活用し、地域全体で子どもたちを見守り育てる環境や体制を充実させます。
- 誰もが生涯学習に参加できるよう、活動基盤づくり、循環型の指導者育成を進めます。
- 地域の文化や文化財を保全し、それらを活かした地域性豊かなまちづくりを進めます。
- 生涯を通じ、誰もが継続的にスポーツに取り組める体制を整え、主体的な活動を支援します。
- ヘルスプロモーション^{※1}の理念に基づく健康づくりと意識の向上に努めます。
- 安心して住み続けられる医療体制の確保に努めます。
- だれもが安心して誇りを持って暮らし続けることのできるまちづくりを進めます。
- 高齢者が住みなれた地域で、安心して生活できるまちづくりを推進します。
- ふれあいの場の確保、意識啓発や福祉教育などを通じ、ノーマライゼーション^{※2}の定着に努めます。
- 医療保険・介護保険制度の安定・健全運営と年金制度に対する啓発を進めます。

※1 ヘルスプロモーション：「健康保持増進のため、個人の努力だけではなく、あらゆる分野から健康という視点を取り入れ、健康を支える環境を整備すること、健康施設の意志決定に住民が参画することが必要である」という考え方です。

※2 ノーマライゼーション：障がいや年齢によって差別されることがなく、社会のなかでみんなが同じように生活し、活動することが本来あるべき姿であるという考え方です。



新学童保育所・つちのこ館



3 自然を感じながら、快適に暮らせるまちをつくる

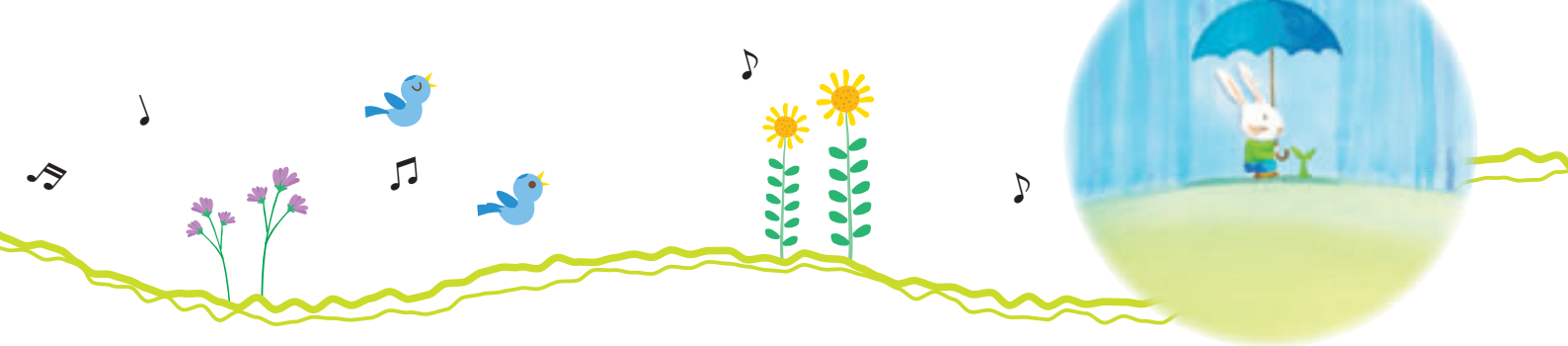
剣淵町の自然環境や美しい景観を大切にしながら、住みよさを高めていくまちづくりを進めます。

取り組み分野

自然保護、環境共生 排水処理、し尿処理 ごみ処理、リサイクル
公園、憩いの場 墓地、火葬場 防災 消防、救急 交通安全
防犯、消費者対策 土地利用 住宅、宅地 水道 景観、環境美化
道路 公共交通 情報通信

主な取り組みの方向・考え方

- 自然環境の保全や環境負荷の軽減につながる取り組みを進めます。
- 生活污水対策、各施設の維持管理を実施し、公共水域の水質保全、整備を進めます。
- ごみの減量化、再利用、再資源化を進め、資源の循環と環境保全を推進します。
- 公園、憩いの場の維持管理に努め、安全に利用できる環境づくりを進めます。
- 墓地、火葬場のより良い環境づくりに努めます。
- 災害発生時の対応力を強化し、自主防災組織の育成と防災訓練を実施します。
- 広域的な連携により消防・救急体制を充実し、訓練等を通じ防火意識の向上をはかります。
- 交通事故が発生しにくい環境を整え、交通安全意識を高め、交通事故防止に努めます。
- 防犯意識を高め、犯罪を防ぐ取り組みの促進や、生活環境の整備に努めます。
- それぞれの土地の利用区分に沿った適正な土地利用を進めます。
- 安全安心な住まいづくりと、住民のニーズに応える宅地、住宅の供給に努めます。
- 快適な住環境を整えるため、効率的な運営と安全で安定した飲料水の供給に努めます。
- 花や田園の要素を取り入れ、彩を添えるまちづくりを進めます。
- 幹線道路の自歩道の整備、既存の舗装道路の改修を進めます。
- 公共交通機関の継続運行を働きかけ、移動ニーズに対応できる環境づくりに努めます。
- 必要とされる情報をより迅速に発信できる体制づくりを推進します。



4 まちづくりを楽しみ合えるまちをつくる

地域の課題を住民が協力し合うことで解決し、達成感をみんなで喜び、自然と笑顔があふれるまちをめざします。

取り組み分野

交流 コミュニティ まちづくり活動 広報、広聴 男女共同参画
行政運営 財政運営 広域行政

主な取り組みの方向・考え方

- 積み重ねてきた交流や人とのつながりを活かし、交流の拡大、地域の活性化につなげます。
- 人と人との支え合い、助け合いづくりと、より良いコミュニティづくりを推進します。
- 協働の精神による、人づくりとまちづくり活動を展開します。
- 多様な広報、広聴の場を設置し、住民の意見、要望を活かしたまちづくりを進めます。
- 男女が共に喜びと責任を分かち合い、自分らしく生きることのできる社会をめざします。
- 職員個々の資質と組織の機能を高め、事務事業の効率化と住民サービスの向上に努めます。
- 事務事業の見直し、経常的経費の節減等に努め、健全な財政運営を維持します。
- ますます高まる広域連携の必要性を再認識し、さらなる地域間連携を進めます。



さぬき市との児童交流



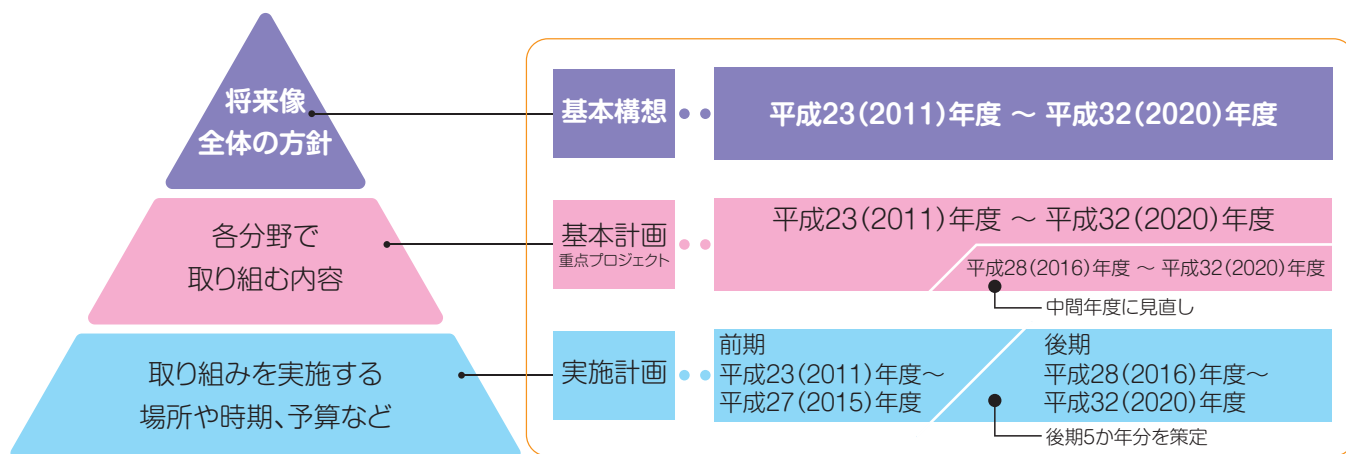
まちづくり研修会



剣淵町にとって5期目にあたるこの計画は、平成23(2011)年度から平成32(2020)年度までの10年間を計画期間とし、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3つで構成されています。

計画の構成

計画の期間



第5期剣淵町総合計画 【概要版】

発行：北海道剣淵町
発行日：平成23(2011)年3月
企画・編集：剣淵町総務課

〒098-0392 北海道上川郡剣淵町仲町37番1号

電話：0165-34-2121

ファックス：0165-34-2590

町のホームページ： <http://www.town.kembuchi.hokkaido.jp>